【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公表番号】特表2002-516014(P2002-516014A)
【公表日】平成14年5月28日(2002.5.28)
【出願番号】特願平10-513939
【国際特許分類第７版】
　Ｇ１１Ｂ　7/24
　Ｇ１１Ｂ　7/0055
【ＦＩ】
　Ｇ１１Ｂ　7/24　５３５Ｌ
　Ｇ１１Ｂ　7/0055　Ａ
　Ｇ１１Ｂ　7/24　５３３Ｒ
　Ｇ１１Ｂ　7/24　５３３Ｚ
　Ｇ１１Ｂ　7/24　５７１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月2日(2004.11.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手　続　補　正　書

(¥9,600.-)

適

平成 16.11.-2 年 月 日

特許庁長官　小　川　　洋　殿

適

1.事件の表示　　平成１０年特許願第５１３９３９号

2.補正をする者

事件との関係　　出　願　人

名　称　　フレックスプレイ　テクノロジーズ　インコーポレイテッド

3.代　理　人

住　所　　東京都千代田区丸の内３丁目３番１号
電話（代）3211-8741

氏　名　　(5995) 弁理士　中　村　　稔

4.補正命令の日付　　自　　発

5.補正により増加する請求項の数　　6

6.補正対象書類名　　明細書

7.補正対象項目名　　請求の範囲

8.補正の内容　　別紙記載の通り

方式審査

請 求 の 範 囲

1. 機械可読の情報符号化フィーチャを備える光ディスクにおいて、

前記ディスクに取外し可能に結合し、前記フィーチャの機械読取りを防止するように構成されバリヤー層、及び

前記ディスクに含まれ、前記バリヤー層の除去で活動化され、いったん活動化されると、初め前記ディスクの読取りを許し、次に前記ディスクの読取りを禁止するように前記ディスクを変化させ、前記ディスクの有効寿命を短くする読取り阻止剤、を備え、

前記バリヤー層は前記読取り阻止剤の早期の活動化を防止することを特徴とする光学ディスク。

2. 前記ディスクは第１表面を備え、前記フィーチャは前記第１表面に隣接し、前記読取り阻止剤は前記フィーチャに隣接し、前記バリヤー層は前記読取り阻止剤に隣接する請求の範囲第１項に記載した光学ディスク。

3. 前記ディスクは光ビームを前記フィーチャに伝達する半透明層を備え、前記読取り阻止剤は前記半透明層に組込まれ又はこれと隣接し、前記バリヤー層は前記半透明層に隣接するシートを備える請求の範囲第１項に記載した光学ディスク。

4. 前記ディスクは反射膜を備え、前記読取り阻止剤は前記反射膜に配置された又は隣接する腐食促進剤を備える請求の範囲第１項に記載した光学ディスク。

5. 前記読取り阻止剤は、いったん活動化されると、光ビームの散乱を増加させる請求の範囲第３項に記載した光学ディスク。

6. 前記読取り阻止剤は、いったん活動化されると、光ビームを吸収する請求の範囲第３項に記載した光学ディスク。

7. 前記読取り阻止剤は、いったん活動化されると、前記ディスクの物理的寸法を変える請求の範囲第１項に記載した光学ディスク。

8. 機械可読の情報符号化フィーチャを備える光ディスクにおいて、

前記ディスクに含まれ、前記ディスクの機械読取りで活動化され、いったん活動化されると前記ディスクの読取りを禁止するように前記ディスクを変化さ

せ、前記ディスクの有効寿命を短くする読取り阻止剤、
を備えることを特徴とする光学ディスク。

9. 前記読取り阻止剤は、前記ディスクの機械読取りの間に前記ディスクに入射する光放射により活動化される請求の範囲第８項に記載した光学ディスク。

10. 前記読取り阻止剤は、機械読取りの間の前記ディスクの回転により活動化される請求の範囲第８項に記載した光学ディスク。

11. 前記ディスクに前記読取り阻止剤を含有する貯蔵部を備え、前記貯蔵部は機械読取りの間に前記ディスクが回転されたとき、前記読取り阻止剤を放出するように構成された請求の範囲第８項に記載した光学ディスク。

12. 光ディスクの読取りを禁止する方法において、

(a) 機械可読な情報符号化フィーチャと、光放射で活動化され、いったん活動化されると前記ディスクの読取りを禁止するように前記ディスクを変化させ、前記ディスクの有効寿命を短くする読取り阻止剤とを備える光ディスクを設け、

(b) 光放射源を備える前記ディスクを読取る読取りデバイスを設け、

(c) 前記読取りデバイスで前記ディスクを読取り、同時に前記光源からの光放射により読取り阻止剤を活動化させる、
ステップを備えることを特徴とする方法。

13. ステップ(b)で設けられる前記読取りデバイスは、前記光放射光源に加えて、読取りビーム光源を備える請求の範囲第１２項に記載した方法。

14. 光ディスクの読取りを禁止する方法において、

(a) 機械可読な情報符号化フィーチャと、光放射で活動化され、いったん活動化されると前記ディスクの読取りを禁止するように前記ディスクを変化させ、前記ディスクの有効寿命を短くする読取り阻止剤とを備える光ディスクを設け、

(b) 光放射の第１、第２光源を備える前記ディスクを読取る読取りデバイスを設け、

(c) 前記第１光源により前記ディスクを読取り、同時に前記第２光源により読取り阻止剤を活動化させる、

ステップを備えることを特徴とする方法。

15．光ディスクの読取りを禁止する方法において、

(a) 機械可読な情報符号化フィーチャと、光放射で活動化され、いったん活動化されると前記ディスクの読取りを禁止するように前記ディスクを変化させ、前記ディスクの有効寿命を短くする読取り阻止剤とを備える光ディスクを設け、

(b) 光放射の光源を備える前記ディスクを読取る読取りデバイスを設け、

(c) 前記光源で前記ディスクを読取り、同時に前記光源からの光放射により読取り阻止剤を活動化させる、

ステップを備えることを特徴とする方法。

16．機械可読の情報符号化フィーチャを備える光ディスクにおいて、

前記ディスクに含まれる貯蔵部、

前記貯蔵部と、前記ディスクの情報を符号化したフィーチャを備える部分とを相互接続する経路、及び、

前記貯蔵部に含まれ、前記ディスクの機械読取りで自動的に活動化され、いったん活動化されると前記ディスクの読取りを禁止するように前記ディスクを変化させ、前記ディスクの有効寿命を短くする読取り阻止剤、

を備えることを特徴とする光学ディスク。

17．前記経路はバルブを備える請求の範囲第１６項に記載した光学ディスク。

18．前記バルブは、前記読取り阻止剤により溶解するバルブ要素である請求の範囲第１７項に記載した光学ディスク。

19．前記バルブは、機械的バルブである請求の範囲第１７項に記載した光学ディスク。

20．前記貯蔵部に配置された芯を備える請求の範囲第１６項に記載した光学ディスク。

21．前記経路と連通する少なくとも１つの孔を備える請求の範囲第１６項に記載した光学ディスク。

22．光ディスクの読取りを禁止する方法において、

(a) 機械可読な情報符号化フィーチャと、

前記ディスクに取外し可能に結合し、前記フィーチャの機械読取りを防止するように構成されバリヤー層と、

前記ディスクに含まれ、前記バリヤー層の除去で活動化され、いったん活動化されると、初め前記ディスクの読取りを許し、次に前記ディスクの読取りを禁止するように前記ディスクを変える読取り阻止剤と、

を備える光ディスクを設け、

(b) 前記バリヤー層を除去して、前記フィーチャの機械読取りを出来るようにし、前記読取り阻止剤を活動化させ、

(c) 前記前記バリヤー層を除去した後、前記読取り阻止剤により前記ディスクの読取りを禁止するように前記ディスクが変化される前に、前記ディスクを読取り、

(d) 前記読取り阻止剤は前記ディスクを変化させ、前記ディスクの有効寿命を短くする、

ステップを備えることを特徴とする方法。

23. 前記ディスクは第１表面を備え、前記フィーチャは前記第１表面に隣接し、前記読取り阻止剤は前記フィーチャに隣接し、前記バリヤー層は前記読取り阻止剤に隣接する請求の範囲第２２項に記載した光学ディスク。

24. 前記ディスクは光ビームを前記フィーチャに伝達する半透明層を備え、前記読取り阻止剤は前記半透明層に組込まれ又はこれと隣接し、前記バリヤー層は前記半透明層に隣接するシートを備える請求の範囲第２２項に記載した光学ディスク。

25. 前記ディスクは反射膜を備え、前記読取り阻止剤は前記反射膜に配置された又は隣接する腐食促進剤を備える請求の範囲第２２項に記載した光学ディスク。

26. 前記読取り阻止剤は、いったん活動化されると、光ビームの散乱を増加させる請求の範囲第２４項に記載した光学ディスク。

27. 前記読取り阻止剤は、いったん活動化されると、光ビームを吸収する請求の範囲第２４項に記載した光学ディスク。

28. 前記読取り阻止剤は、いったん活動化されると、前記ディスクの物理的寸法を変える請求の範囲第２２項に記載した光学ディスク。